

令和6年度第2回 研修会 アンケート集計結果

日時：2024/8/6（火）19:00～20:00

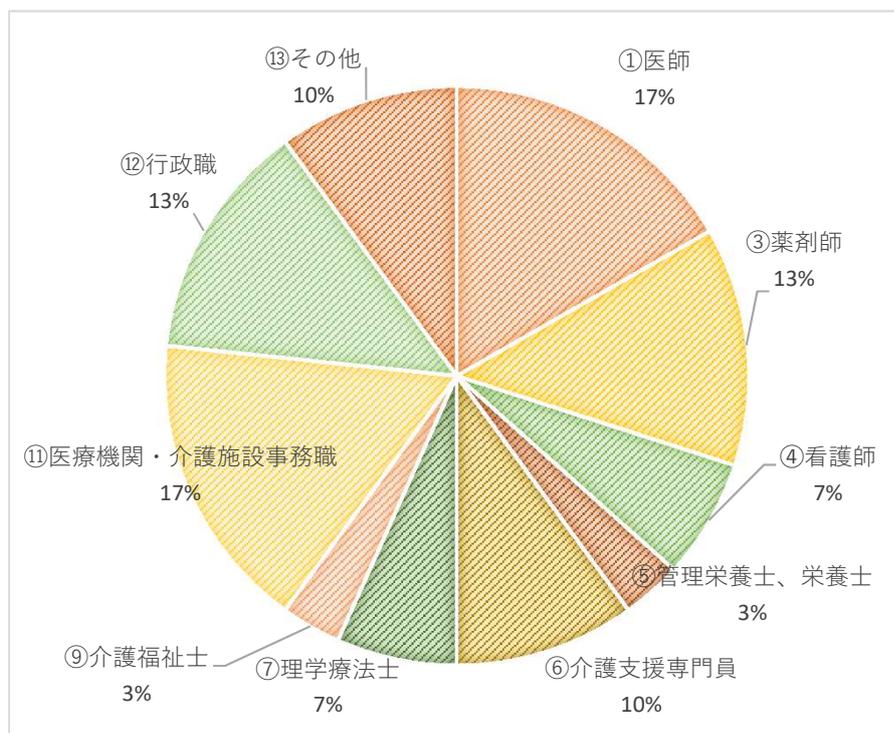
場所：大川三潯医師会館講堂

講演：「令和5年7月10日大雨・浸水被害から得た教訓」

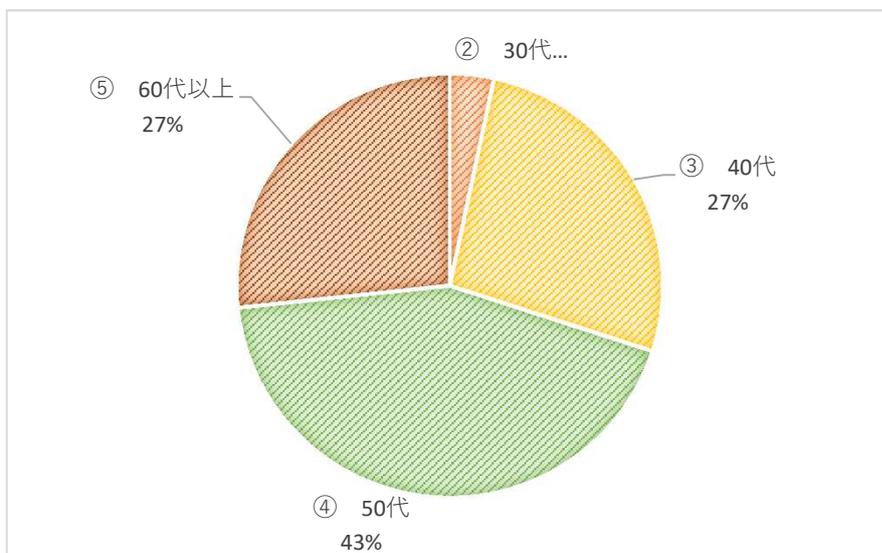
講師：田主丸中央病院 理事長 鬼塚 一郎 先生

参加人数： 51人 回答者数 30人 回収率 59%

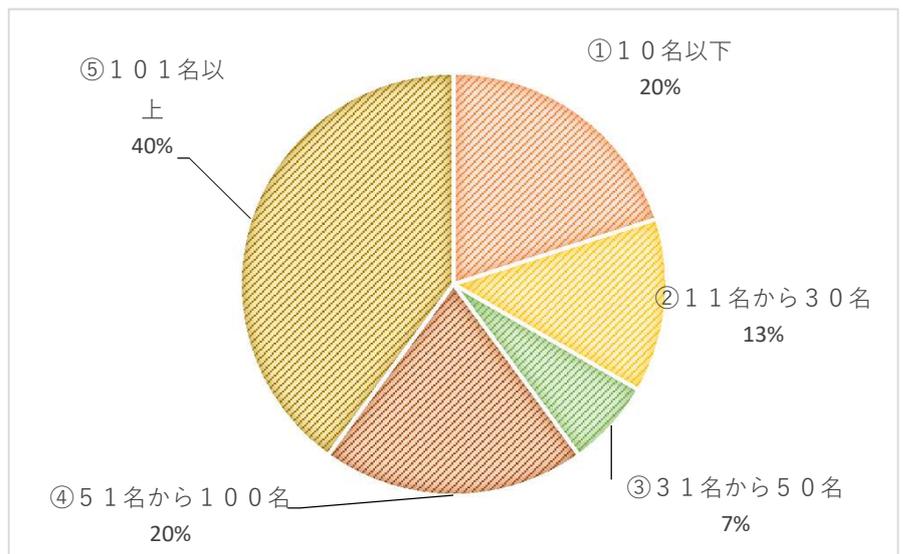
1. 職種	
①医師	5
②歯科医師	0
③薬剤師	4
④看護師	2
⑤管理栄養士、栄養士	1
⑥介護支援専門員	3
⑦理学療法士	2
⑧作業療法士	0
⑨介護福祉士	1
⑩ソーシャルワーカー	0
⑪医療機関・介護施設事務職	5
⑫行政職	4
⑬その他	3
計	30



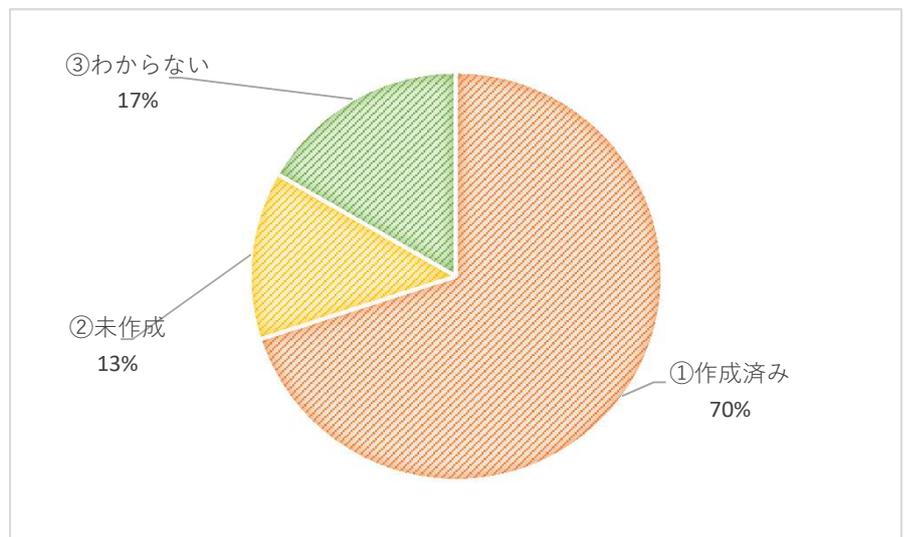
2. 年代	
① 20代	0
② 30代	1
③ 40代	8
④ 50代	13
⑤ 60代以上	8
計	30



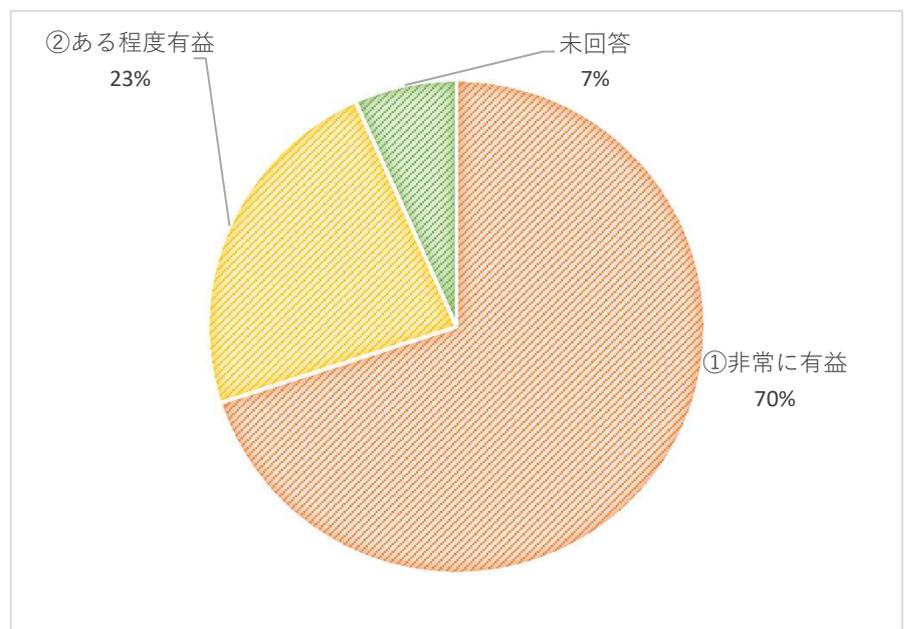
3、職員数	
① 10名以下	6
② 11名から30名	4
③ 31名から50名	2
④ 51名から100名	6
⑤ 101名以上	12
計	30



4、BCPの作成状況	
① 作成済み	21
② 未作成	4
③ わからない	5
計	30



5、講義内容について	
① 非常に有益	21
② ある程度有益	7
③ 見直しは行わない	0
未回答	2
計	30



講演の中で、今後の取組や現場で活かしたいこと

- ・ ボランティアのマネジメントについて
 - ・ 電源確保、水の確保
 - ・ 浸水被害に対して当院としてどのような対策ができるかを検討できました。
 - ・ 大雨の時、エレベーターがどんな状況で停止するか、盲点でした。確認したいです。
 - ・ 非常時訓練をやるべきだろう。
 - ・ 止水壁の設置、垂直移動の基準設定
 - ・ 災害用物資の内容が参考になった。発電機の必要施など
 - ・ 止水版の設置、物品管理を上層階にという事など浸水時の対策
 - ・ ボランティアの受け入れ（色分けなど）、現実的な訓練
 - ・ 災害の想定
 - ・ 防災用品の確認
- 倉庫の整理方法(容器に入れて表示)は、大変参考になりましたが、スペースがないため自事業所でできることを考えなければと感じました。

災害を想定して医療・介護の分野で、一番不安に思われること

- ・ 適切なマネジメントが現場でできるかどうか
- ・ 多職種での連絡網が整備されていない。
人員不足が深刻で本来業務以外のことを検討できていないことが不安です。しっかり検討する必要がある課題だと思います。
- ・ ボランティアのマネジメントについて
- ・ 電源確保、水の確保
- ・ 浸水被害に対して当院としてどのような対策ができるかを検討できました。
- ・ トイレ、水、電気
- ・ 広域な災害となるはずなので、一カ所に集中した復興が必要だと思うが、その設定がされているのか。
- ・ ライフラインの確保
- ・ 地震発災時などの対策
- ・ 地域の防災組織、行政、地区協議会、警察、消防、消防団との連携
- ・ 認知症高齢者の危機感の欠如や夜間帯の移動避難の誘導方法
- ・ 移動方法、連絡手段、重い疾患を持つ方の支援等